

第41回 生殖発生毒性評価勉強会開催案内〈第一報〉

2016年4月15日

生殖発生毒性評価勉強会運営委員会

第41回生殖発生毒性評価勉強会(旧称:胎児観察勉強会)開催の案内を申し上げます。

*本案内につきまして、貴施設での関係者の皆様に、ご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

日時: 2016年5月28日(土)、12:45~(受付)、13:00~17:00

場所: NATULUCK 茅場町新館2階大会議室(<https://www.spacee.jp/listings/633>)

交通: 東京メトロ東西線 茅場町駅から徒歩1分 会費: 1,000円(学生無料)

内容:

I. ご挨拶(北里第一三共ワクチン、下村和裕)

II. 小頭症について

(進行/アスピオ、西村友成)

2015年南アメリカ大陸でのジカ熱の流行と小頭症の発生が話題となっていますが、ジカ熱ウイルス感染と小頭症との関係については未だ不明のところも多い現状です。ここでは小頭症について一般的な発生のメカニズムなど関連する情報を確認してみたいと思います。

III. 生殖発生毒性試験のデザイン詳細に関する話題提供

(進行/アステラス製薬、坂井祐子)

前回に続き、ウサギの、胎児観察(性別、脳、心、骨格変異)、妊娠動物作製(自然交配回数、HCG投与、人工授精)、飼育管理(室温、ケージ、エンリッチメント)などウサギ関連の話題を中心に上げる予定です。

IV. 胎児所見の標準化ー骨格構造所見区分の素案についてー(進行/アステラス製薬、藤原道夫)

V. 短期間骨格標本作製法

(進行/北里第一三共ワクチン、下村和裕)

約72時間で骨格標本の作製を可能にするという、透明化試薬であるVisikol®を紹介し、メリット、デメリットを話し合います。希望者による小規模な検討も企画してみたいと思います。

VI. 悩ましき問題(あなたならどうする?)

(進行/武田薬品、城塚康毅)

生殖発生毒性試験の立案、実施、結果で悩ましき問題に直面することがあります。一人で悩まず、勉強会参加者みんなでお話し合しましょう。悩んだ経験をお持ちの方は城塚(yasuki.shirotsuka@takeda.com)までご連絡いただけますようお願いいたします。当日のお申し出も歓迎致します。

VII. 胎児標本の所見についての意見交換

(進行/武田薬品、城塚康毅)

ラット/ウサギ/マウス/サルの外表面/内臓/骨格観察でみられた稀な所見や判断に迷う所見について勉強会参加者でお話し合います。疑問に思う所見をお持ちの方は城塚(yasuki.shirotsuka@takeda.com)までご連絡いただけますようお願いいたします。当日のお申し出も歓迎致します。

☆☆☆ 懇親会 ☆☆☆

・時間: 17:30頃~ ・場所: 茅場町駅周辺

・懇親会参加の方は下村までお知らせ頂きますようお願い致します。

〈生殖発生毒性評価勉強会事務局〉

〒134-8630 東京都江戸川区北葛西1-16-13 北里第一三共ワクチン(株) 下村和裕

Tel: 03-5696-7322 E-mail: shimomura.kazuhiro.aj@daiichisankyo-kv.co.jp